

ウィークリー・ブレッド・オブ・ライフ

(2025年4月14日(月)～20日(日))

岸和田聖書教会

牧師 栗原純人

「ブレッド・オブ・ライフ」とは「いのちのパン」(ヨハネ 6:48)。「わたしはいのちのパンです」と言われるイエス・キリストさまに目を向け、主をみことばによって食しましょう。今日一日の力です。以下の手順を参考に聖書を読みましょう。

1. 静まります。「しかし私は 義のうちに御顔を仰ぎ見 目覚めるとき 御姿に満ち足りるでしょう。」(詩篇 17:15)。神さまがあなたを呼んでおられます。
2. 声に出してその日の聖書日課を読みます。
3. 気づいたこと、わからないことなどをノートに箇条書きし、その後『みことばの光』、このブレッド・オブ・ライフの文章を読みます。わかったことがあったら、さらに書いてみましょう。『みことばの光』は一冊(一ヶ月)430円(注文は栗原弥希姉まで)。
4. もう一度、聖書日課を読みます。違う響きがあるでしょうか？
5. 祈りましょう。実際に声に出して。そして祈りの中心部分を書いてみましょう。一日の終わりに、今朝の聖書を思い起こし、みことばがどのように生きたか、思い巡らしながら、おやすみなさい。

4月14日(月)

今日の聖書日課：ルカ 22：39～53

「父よ、みこころなら、この杯をわたしから取り去ってください。しかし、わたしの願いではなく、みこころがなりますように。」

ルカ 22：42

イエスは「みこころ」を知っていました。しかしそれでいて、「この杯」：これから十字架に掛かることを取り去ってほしいと願ったのです。イエスは十字架で自分が神と断絶されることを恐れたのです。いやだったのです。避けたかったのです。それでストレートに願いました。自分のところにあることをそのまま吐き出しました。その空になった心に神からの「みこころ」が入り、イエスは「わたしの願いではなく、みこころがなりますように。」と祈ったのです。

あなたの祈りはどうですか？

4月15日(火)

今日の聖書日課：ルカ 22：54～71

主は振り向いてペテロを見つめられた。ペテロは、「今日、鶏が鳴く前に、あなたは三度わたしを知らないと言います」と言われた主ことばを思い出した。

ルカ 22：61

このときのイエスの顔はどんな顔だったのでしょうか？怒りに満ちた顔？「そらみたことか」という冷ややかな顔？違います。あのとときと同じ顔。「しかし、わたしはあなたのために、あなたの信仰がなくならないように祈りました」(32)と言われたときと同じ顔。「わたしはあなたを捨てない」。そういう顔でした。そのことを思い出し、そんな主を捨てた自分のふがいなさにペテロは「そして、外に出て行って、激しく泣いた。」のでした(62)。

4月16日(水)

今日の聖書日課：ルカ 23：1～12

それで、いろいろと質問したが、イエスは何もお答えにならなかった。

ルカ 23 : 9

ヘロデ王の前です。ここに至るまでイエスはユダヤ人の最高法院→ローマ総督ピラトと引き回されました。ユダヤ人の宗教指導者たちがイエスを死刑にしようとしたからです。ヘロデはガリラヤの王でしたが、この時、エルサレムにいました。そこでピラトはガリラヤ出身のイエスについて何か知ることができるのではないかと考え、彼をヘロデのところへ送ったのです。しかしヘロデがいくら質問してもイエスは答えませんでした。私たちだったらどうでしょうか？自分を守るためにしゃべりまくるのではないかと？しかし主は何もお答えにならなかった。これが、あの「みこころがなりますように」(22 : 43) と祈ったイエスの姿でした。

4月17日(木)

今日の聖書日課 : ルカ 23 : 13~25

それでピラトは、彼らの要求どおりにすることに決めた。

ルカ 23 : 24

ローマ総督ピラトは知っていました。イエスには死に値する罪がないことを。だから三度もイエスの無罪を訴えました。しかし民衆は言います「十字架だ。十字架につけろ」(21)。その声は「いよいよ強くなって」いきました(23)。ピラトも自分のなすべきことを知っていました。しかし彼には自分の弱さを吐き出すすべがありませんでした。どこにももって行きようがない。そこで、なすべき正しいことができず、民衆の要求どおりにイエスを引き渡したのです。

あなたには祈る、という道があります。

4月18日(金)

今日の聖書日課 : ルカ 23 : 26~43

朝 6 : 30 から受難日祈祷会が行われます。今回は次の順に進めます。

- ① 今日の聖書日課を輪読する(2回)。
- ② 5分黙想する。
- ③ 三人一組のグループに分かれ、一人ずつ祈る。そのときに心に残った聖句を読み上げ、その理由を祈りのかたちで語る(聖句だけ読み上げ、「イエス・キリストの御名によって祈ります。アーメン」でもよい)。
- ④ 終わり。話をする場合はロビーに出てから。多目的室は静かにしてください。

4月19日(土)

今日の聖書日課 : ルカ 23 : 44~56

また、この光景を見に集まっていた群衆もみな、これらの出来事を見て、悲しみのあまり胸をたたきながら帰って行った。

ルカ 23 : 48

イエスが息を引き取られてからのことです。異邦人である百人隊長は「本当にこの人は正しい人であった」と言いました(47)。十字架の上でのイエスの姿を見、そのことばを聞いたからです。「群衆」とは「十字架につけろ！」(21)と言った人々ではなかったか？しかし彼らもまたイエスを見聞きして悲しんだのです。

4月20日(日) イースター礼拝

本日の礼拝説教箇所 : ルカ 24 : 13~35 「ともに歩まれるイエス」

よみがえられたイエス・キリストさまが、今日も私とともに歩んでくださいます。